令和３年度全国木材資源リサイクル協会連合会

通常総会議事録

開催日時 ： 令和３年５月２０日（木）１０：３０～１１：００
場　　所 ： ㈱グーンみなとオフィス
（神奈川県横浜市中区山下町２番地１０F）
総会員数 ： 正会員１９０社＋６協会＝１９６団体（うち議決権１８９）
賛助会員２８社、物流会員１０社
出　　席 ： 正会員１０社・1団体　１５名
書面表決 ： ８８通
委 任 状 ： ５７通　合計１５６名
事務局員 ： １名
議　　事
第１号議案　令和２年度事業報告
第２号議案　令和２年度決算
第３号議案　令和３年度事業計画
第４号議案　令和３年度当初予算
第５号議案　役員の改選
報告事項
（１）木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会活動報告
（２）寄附金の募集について

議事内容

司会　専務理事　原　信男

１．司会からの総会成立の報告

総会の正会員の出席は１０社・１協会であり、また正会員から１４５通の書面表決と委任状が提出されているので、併せて１５５社・１協会が出席したことになる。これは議決権数１８９団体の過半数を上回っており、総会が成立しているとの報告があった。

２．理事長挨拶　　藤枝慎治 理事長

全国のリサイクルチップ総量の８割がたは、当連合会の会員が扱っている。それだけ大きな組織であり、国からの期待感も高くなっている。廃棄物処理では環境省、建設リサイクルでは国土交通省、木材活用では林野庁や資源エネルギー庁などの省庁が関係している。最近、国と話していると、感染症対策、カーボンニュートラル、ＤＸの３つはテーブルに載っていないといけないという方向性である。連合会は感染症の１丁目１番地のビジネスとして非接触型の構築が必要である。カーボンニュートラルによる社会貢献、ＤＸ化によ

り１社１社が仕事の効率を上げてこれも社会に貢献していかなければならない。さて、本日は総会であり、慎重審議をお願いし、冒頭のご挨拶とする。

３．議長選出

本日の総会の議長について、藤枝慎治理事長を議長とすることで了解を求めたところ、全員異議なく承認された。

４．議事録署名人選出

仁木智之氏、冨岡誠司氏に議事録署名人となることの了解を得、全員異議なく承認された。

５．議　事　　議長　藤枝　慎治 理事長

議長が、第１号議案、第２号議案はそれぞれ関連があり、事務局からまとめて説明することを求めた。

第１号議案　「令和２年度事業報告」

連合会の定款に定める５つの事業別に事務局から次の説明があった。

１ 木材資源等の再利用に関する出版物、ホームページ等による普及啓発事業としては、ホームページに関して CMS の変更やタイムリーな更新に取り組んだことなど

２ 木材資源等の再利用に関する環境保全のための、イベント、セミナー、シンポジウム、講演等の開催事業としては、新型コロナウイルスの関係で開催できなかったが、その準備のための取り組みがあり、事業費として計上していること

３ 木材資源等の再利用に関する技術及び法案整備のための調査・研究事業としては、木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会では、木質チップの需給調査のアンケート項目や国への要望内容をメールで意見聴取し、需給調査で新型コロナウイルスの影響について新規に質問項目を設けたこと。初めてリモート会議を開催したこと。従来の需給問題検討会とユーザー懇談会を統合して、初めて木質資源安定供給検討会を開催したこと。FIT 制度への対応を進めたことなど

４ 木材資源等の再利用を通じた環境保全に関する情報提供事業としては、ホームページを活用して情報を提供したほか、木質資源安定供給検討会を開催したこと。国や自治体との調整を行ったこと

５ 木材資源等の再利用に関する活動を行う団体に関する助言、指導又は援助に関する事業としては、地域協会の総会等へ出席して情報交換したこと。林野庁及び資源エネルギー庁の研究会に参加したこと。寄付金の実績報告

第２号議案 「令和２年度決算」

続いて、活動計算書、参考資料などに基づき事務局から次の説明があった。

経常収益は 8,772,692 円。会費収入については会員増により増加したが、受取寄付金が目標の 360 万円に届かなかったことや事業収益の減などにより、平成 31 年度決算に比べて約

60 万円減少したこと。
経常費用は 7,071,505 円。新型コロナウイルスの関係により会議が開催できなかったことなどにより昨年度に比べて約 150 万円の減となったこと
結果、当期経常増減額はプラス 170 万円余になったこと

以上の説明について、矢吹監事から、適正なものと認めたとの報告があった。

第 1 号議案、第 2 号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

議長が、第３号議案、第４号議案はそれぞれ関連があり、事務局からまとめて説明することを求めた。

第３号議案　「令和 3 年度事業計画」

事業計画について資料に基づき事務局から次の説明があった。
まず、計画の概要として、2050 年のカーボンニュートラルの実現を目指した政府の計画、新型コロナウイルスの感染拡大、DX 化の推進などを視野に事業を進めること。
具体的な事業計画として、定款に則って 5 つの事業ごとに記載していること。
１　木材資源等の再利用に関する出版物、ホームページ等による普及啓発事業としては、ホームページに関してサイトマップやバナー等についてわかりやすい構成に改めること、パンフレット等の刊行物を発行すること
２　木材資源等の再利用に関する環境保全のための、イベント、セミナー、シンポジウム、講演等の開催事業としては、引き続き効果あるイベントに出展すること、環境教育を実施すること
３　木材資源等の再利用に関する技術及び法案整備のための調査・研究事業としては、調査広報委員会の定期開催や国への要望への取り組み、木質資源安定供給検討会は 10 月乃至 11 月に開催することなど
４　木材資源等の再利用を通じた環境保全に関する情報提供事業としては、会員不在県の解消や会員拡大につとめること
５　木材資源等の再利用に関する活動を行う団体に関する助言、指導又は援助に関する事業としては、国際交流や人材育成の検討、特にリモート活用により事務局担当者会議を開催し各地域協会との連携を密にすること。また、寄付金の募集について例年同様 360 万円の目標金額を設定し、支援をお願いすること

第 4 号議案　「令和 3 年度当初予算」

続いて、予算について資料に基づき事務局から次の説明があった。
経常収益は、9,134,000 円。会費は会員増による増、寄付金は例年同様の目標金額を設定していることなどにより、令和 2 年度予算に比べて約 10 万円の増となること
経常費用は、10,960,000 円。先進地視察や調査分析、パンフレット等の印刷費などで全体として余裕をもって計上しているため、令和 2 年度予算に比べて 160 万円余の増となること

これにより、正味財産増減額はマイナス 1,826,000 円となること

第 3 号議案、第 4 号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

第 5 号議案 「役員の改選」

資料に基づき事務局から次の説明があった。

現役員は令和 3 年 6 月 5 日で任期満了となるが、現役員を全員留任としたいとの提案があった。また、現役員は全員就任を承諾している旨の報告があった。

第 5 号議案について、詳細に審議したところ、全員異議なく承認された。

6　報告事項　　報告　原専務理事

（1）木材資源リサイクル調査及び広報活動推進委員会活動報告

事務局から、資料に基づき令和 2 年度の活動について次の報告があった。

委員会はコロナ禍で対面の会議が出来なかったが、木質チップ需給調査や国への要望についてメールにより意見聴取した。また、初めて令和 3 年 3 月にリモート会議により、令和 3 年度事業計画や例年調査の質問項目、国への要望などについて意見交換した。特に木質チップ市場価格調査の公表回数の減、FIT 事業者認定に関する更新認定の簡素化などについて意見交換した。

（2）寄付金の募集について

厳しい社会経済情勢であるが、令和３年度は前年度と同額の寄付額を見込んでいるので寄附募集の趣旨にご理解とご賛同をいただき、格別のご協力、ご支援をお願いする。

最後に、理事長から次の話があった。

①国への要望に関して、6 月から 7 月に提出を予定している。まだ、調整は出来るので、地元でこうした内容を入れてほしいという要望があったら、ぜひ寄せてほしい。昨年、環境省から建設汚泥処理物等の有価性に関する取扱いの通知があった。5 つの基準を満たし計画的に利用されることが確実であれば有価物に該当するはずだが、県によって判断基準が違っている。政策研究会とも連携し、この通知の徹底を進めたい。

②全産連で、廃棄物処理産業に関する振興法案がいよいよ出てくる。その他サービス業から独立し、例えば産業廃棄物処理産業となることを目指す法案で、議員立法である。職業として認めてもらうわけだから、規制は出るし資格制度も必要となる。しかし、この実現で、外国人技能実習制度にもつながってくるなど、いい話となる。

③エッセンシャルワーカーとして、コロナ禍のなかで、感染の恐れのある場所に廃棄物を取りに行くなどの機会も多い。従事者にワクチンの早期接種も望みたい。

以上で通常総会におけるすべての審議、報告が終わり、この議事録通り相違ないとして、

議長及び議事録署名人において記名捺印する。

令和３年５月２１日

議　　長　藤枝　慎治　㊞

議事録署名人　仁木　智之　㊞

同　　冨岡　誠司　㊞

議事録作成人　原　　信男　㊞